

# チェダークリーク フットプリント ライブラリ

-- Cedar-Creek FootPrint Library --

## 部品データ名の定義付け

部品分類 パッケージ記号 部品型番 メーカー推奨は MMM を付ける  
(D:挿入部品 S:表面実装部品) ピン番変更/12or123orAAA など

### 部品分類記号

IntegratedCircuit IC:集積回路

Connector CN:コネクタ

### General

AB:アブソーバ	FL:フィルター	DL:ディレーライン	HS:ヒートシンク
BT:電池	FS:ヒューズ PCB:基板	SC:サイリスタ	OS:水晶
BZ:ブザー	MD:モジュール	SK:ソケット	TP:テストピン
CP:コンデンサ	RL:リレー	FE:FET	FM:ファンシヤルマーク
CV:可変コンデンサ	TR:トランス	SN:センサー	FG:フルゲランド
DC:DC-DCコンバータ	TH:サーミスタ	JP:ジャンパー	ET:その他
DE:LED	SW:スイッチ	VR:バリスタ	
DI:ダイオード	RE:抵抗	TQ:トランジスタ	
DZ:ツェナーダイオード	RV:可変抵抗	TE:端子	
LI:コイル・インダクタ	RG:レギュレータ	OI:光結合素子・フォトカップラ	

### 部品型番

部品型番は、対象部品の部品型番をパッケージ記号までフルに入力する。(梱包形式記号は不要)  
但し、基本となる型式・パッケージが同じで電圧値・電流値・スピード等が異なるために  
多数の部品型番が存在する部品は、それらの表記を省略して部品を統一する。  
それらが部品型番の中間に表記される型番は該当部に x x x と入力する。

### コネクタピン番

1 2 3	X X X	1 3 X	2 3 X
1U2U	1D2D	1U2D	1D2U
X X X	1 2 3	2 4 X	1 3 X

ライブラリー名の最後に「-1U2U」などを付ける。

### ユーザーコード

ユーザー特有の部品を作成する場合は、部品分類の前にユーザーコードを付ける。

Company として別ライブラリとする

1-ユーザーコード 部品分類+パッケージ記号 部品型番

## チェダークリーク フットプリント ライブラリ

-- Cedar-Creek FootPrint Library --

### 部品ライブラリー管理方法

- 1、顧客からの部品表より弊社部品ライブラリーに部品データ登録があるか？検索。
- 2、無い部品はカタログ (PDF) を収集
- 3、データ作成に必要なページをプリントアウト
- 4、部品データ作成 (設計に使用するデータ)
- 5、作成した部品データをコピーし、後ろに#を付けたデータを作成 (寸法入りデータ)
- 6、PCB エディターにて寸法を入力し(Mechanical 2)、-#を付けたデータを部品データにコピー
- 7、部品登録台帳にライブラリー名を登録
- 8、部品データ作成に使用したカタログをスキャンし PDF データにする。
- 9、データ名を部品ライブラリーに登録した名前と同じにし、フォルダーに収納。
- 10、トランジスター、ダイオードなど、ECB, KAのピン番号ではなく、1, 2, 3を使用した場合はライブラリー名の後ろに-123をつける。  
その時しか使わない部品(汎用部品等)はその図番のデータベースにライブラリーを作成し、  
その中で変更して使用する事。